

令和3年台風第9号に関する 台風説明会

令和3年8月8日09時現在
のため最新の情報をご利用ください

令和3年8月8日11時
鳥取地方気象台

台風第9号による影響のポイント

①鳥取県への接近

台風は、9日昼前から昼過ぎ、鳥取県に最も接近。

②暴風

9日朝から夕方は、南寄りの暴風となる可能性がある。

③大雨

台風の流れ込む暖かく湿った空気の影響で、8日昼過ぎから9日夕方にかけて激しい雨が降るため、雨量が多くなり8日夜のはじめごろから警報級の大雨になる可能性がある。

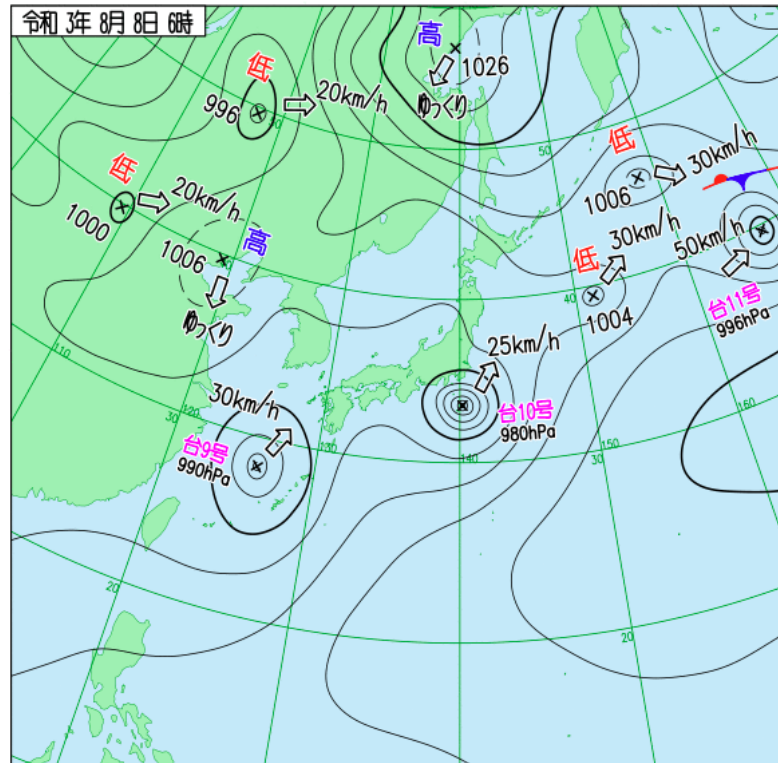
④高波・高潮

海上では、9日昼前からしけとなる見込み。
台風の接近時及び通過後、高潮に注意。

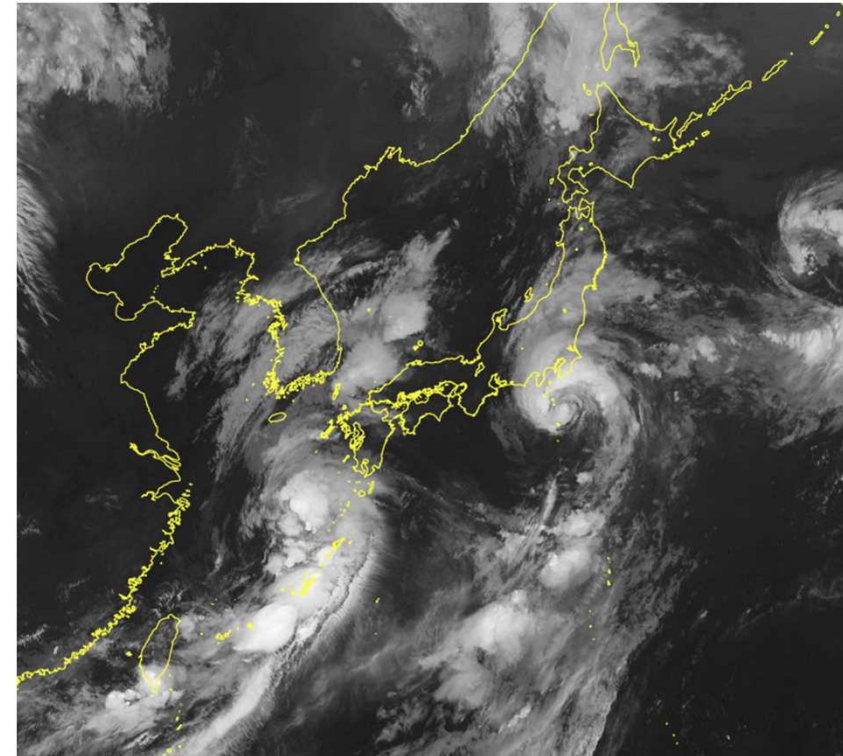
⑤竜巻・突風等

竜巻などの激しい突風、落雷にも注意。

地上天気図と気象衛星画像



地上天気図 8月8日06時



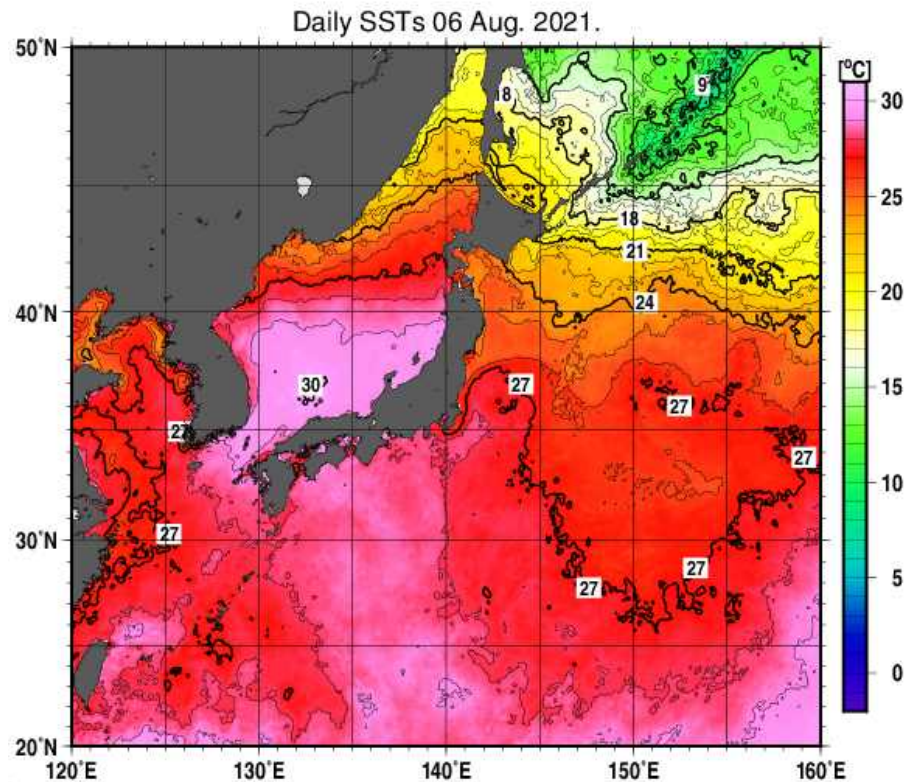
衛星赤外画像 8月8日06時

台風第9号の6日の進路予想では、大陸に上陸し8日に熱帯低気圧に変わる予想だったが、台風の勢力を保ったまま、東シナ海を北東へ進み、9日に鳥取県に接近する予想に変わった。

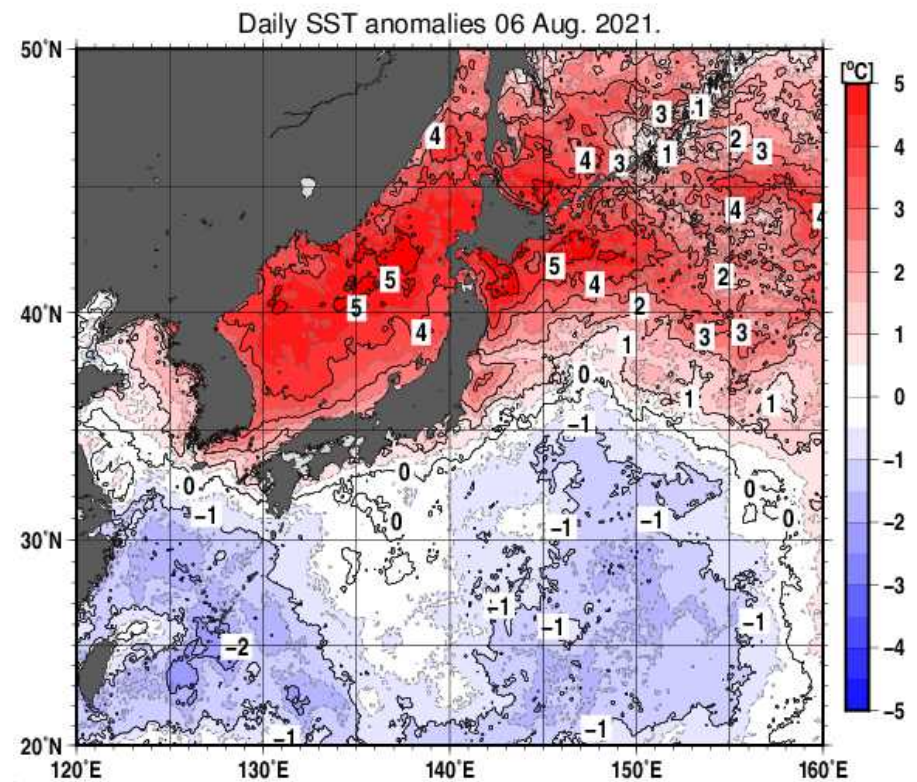
台風は現在、暴風域を伴っていない。台風の東側に活発な雨雲はある。

海面水温

8月6日



海面水温

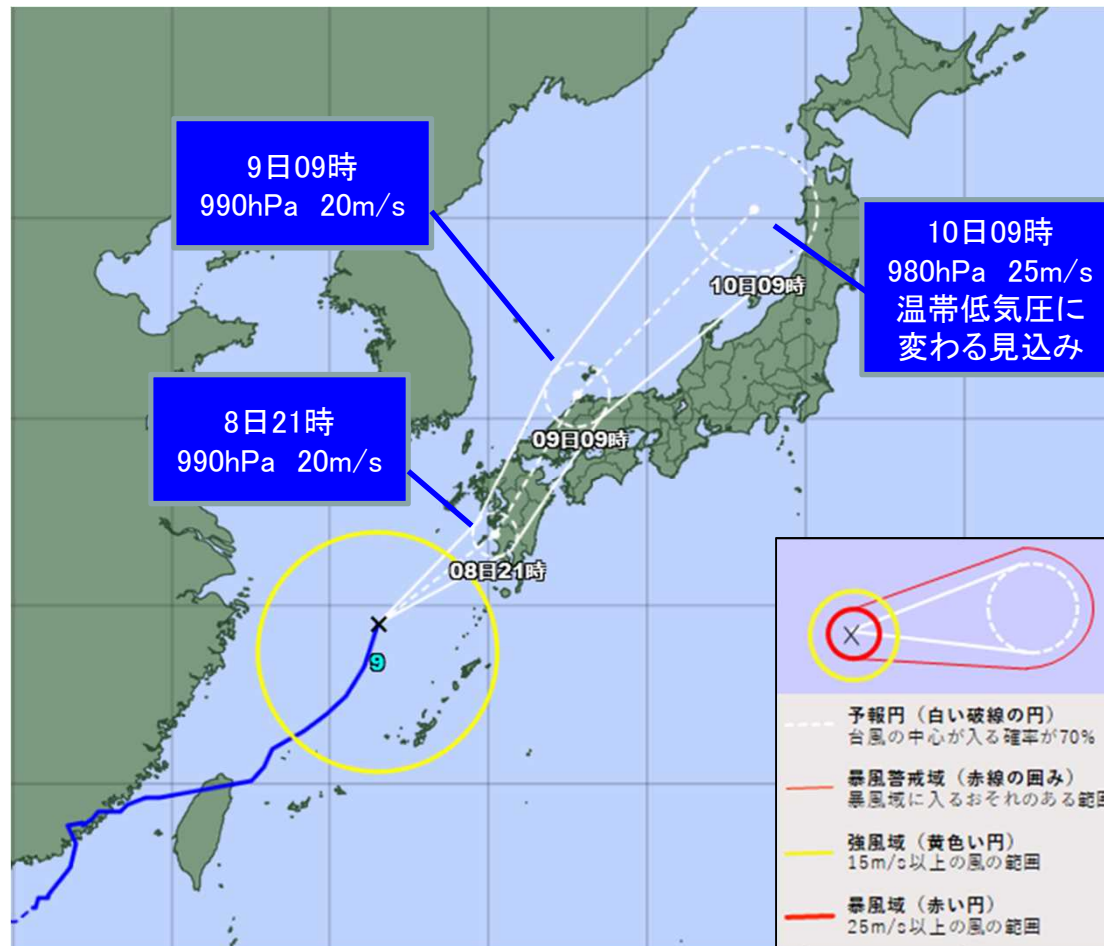


平年差

海面水温の高い領域(27°C以上)が九州の西から日本海まで広がっており、この領域を台風が進むため勢力が衰えにくい。

台風第9号進路予想

8月8日09時 現在



台風第9号(ルピート)
8月8日09時の実況

存在地域 奄美大島の西北西約320km
中心位置 北緯29度30分
東経126度30分
進行方向、速さ 北北東 30km/h
中心気圧 990hPa
中心付近の最大風速 20m/s
最大瞬間風速 30m/s
15m/s以上の強風域
南側 460km 北側 280km

台風は、東シナ海を北東へ進み、8日夜には九州に接近し上陸するおそれ。その後、日本海で温帯低気圧に変わるが、さらに発達する見込み。

これらの情報は、気象庁ホームページからご覧いただけます

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/33.726/133.462/&typhoon=TC2114&contents=typhoon&elem=root>

台風第9号の防災バーチャート (予報円の中心を通った場合の見通し)

8月8日09時 現在

 警報級の可能性[中]の期間

			8日					9日							
			9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
			昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
台風最接近															
大雨(浸水) (ミリ)	東部		0	30	30	30	30	40	40	40	30	30	30	20	20
	中・西部		5	30	30	30	30	40	40	40	30	30	30	20	20
大雨(土砂)	東部														
	中・西部														
暴風 (メートル)	東部	陸上	6 ↓	6 ↓	5 ↗	4 ←	4 ←	12 ↗	12 ↗	18 ↗	18 ←	18 ←	18 ←	12 ↗	12 ↑
		海上	7 ↗	7 ←	7 ←	7 ←	10 ↗	15 ↗	15 ←	20 ↗	20 ↑	20 ↗	20 ↗	18 ↗	18 ↗
	中・西部	陸上	6 ↓	6 ↗	5 ↗	4 ←	4 ←	12 ↑	12 ←	18 ↑	18 ↑	18 ↑	18 ↗	12 ↗	12 ↗
		海上	7 ↗	7 ←	7 ←	7 ←	10 ←	15 ←	15 ←	20 ↑	20 ↑	20 ↗	20 ↗	18 ↗	18 ↗
波浪 (メートル)	東部		1	1	1	1	1.5	1.5	2	3	4	5	5	4	4
	中・西部		1	1	1	1	1.5	1.5	2	3	4	5	5	4	4
高潮	東部		0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9			
	中・西部		0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9			

警報級 注意報級

8日12時～9日12時
東部 120ミリ
中・西部 120ミリ

9日12時～10日12時
東部 100～150ミリ
中・西部 100～150ミリ

境港の満潮時刻 8日13時35分、9日4時16分・14時22分、10日4時40分・15時09分

注意警戒事項 (予報円の中心を通った場合の見通し)

①暴風警報の可能性あり

9日朝から夕方は南風の暴風となる可能性がある。
強風域に入るタイミングは、9日未明。

②大雨に十分注意

山地を中心に雨量が多くなる。警報級の可能性あり。
8日昼過ぎから9日夕方にかけて激しい雨が降るため、土砂災害、浸水害、河川の増水に十分注意。

③高波に十分注意

海上では、9日昼前からしけとなる見込み。

④高潮に注意

台風の接近時及び通過後も、高潮にも注意。

⑤竜巻・突風等

竜巻などの激しい突風、落雷にも注意。

台風の接近に備えて

- 気象台の発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、市町村の避難指示等に注意してください。
- 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- 屋外での作業や不要な外出等は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。
- 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

気象台が発表する今後の予想を含めた最新の情報をご利用ください。

○気象警報・注意報・土砂災害警戒情報

(大雨、洪水、暴風、波浪、高潮などによる、災害のおそれを警告・注意するとともに、警報級の可能性を伝える)

https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=310000&lang=ja

○気象情報(気象概況や大雨の見通し)

https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=310000&format=table

○台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

○指定河川洪水予報(国や鳥取県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

○キキクル(土砂災害、浸水害、洪水害の危険度分布(メッシュ情報)を表示)

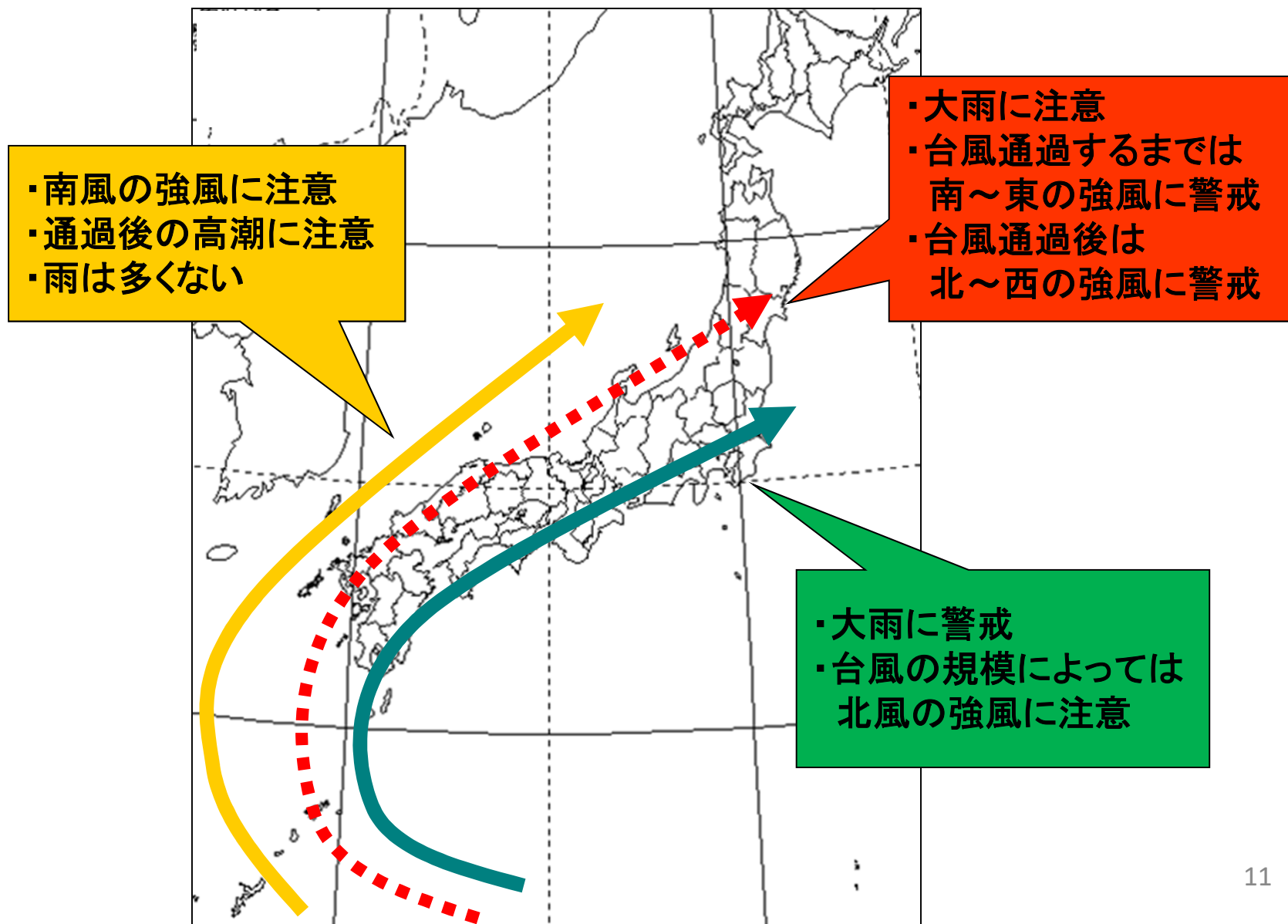
https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=310000&pattern=rain_level

○その他の情報は気象庁ホームページをご覧ください

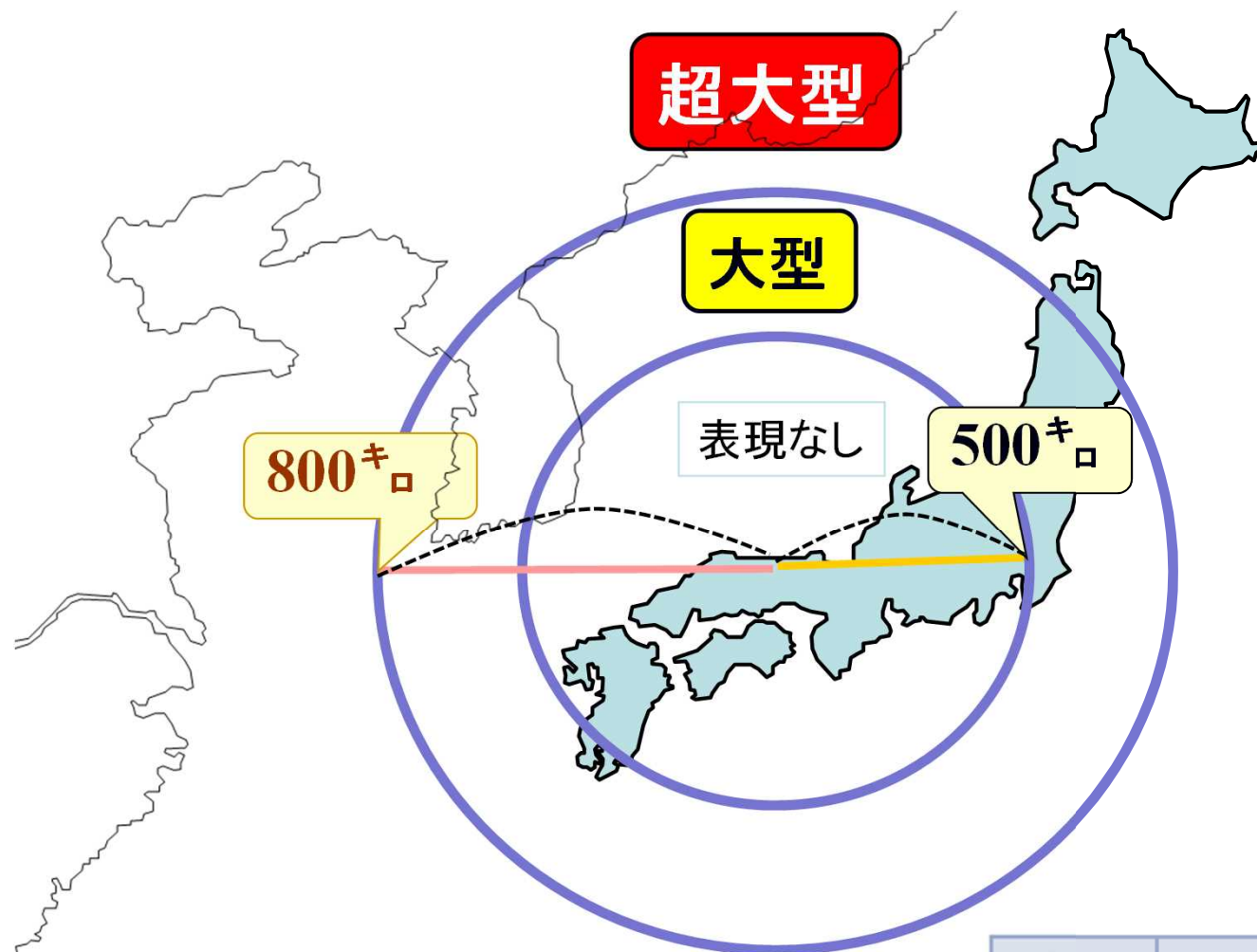
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

参考資料

台風進路別による鳥取県への影響



台風の大きさと強さについて



大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

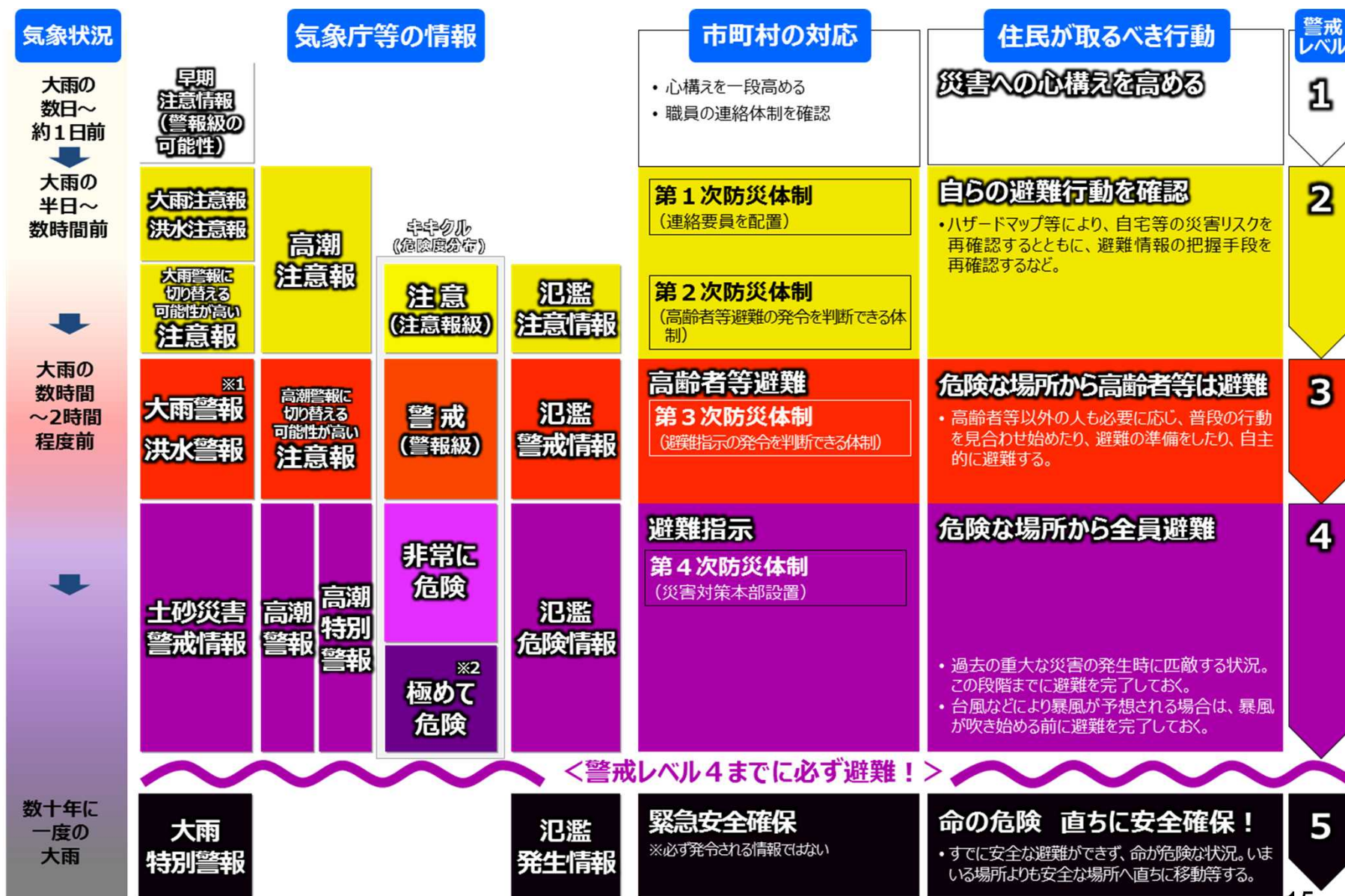
風の強さと吹き方

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていけないと 立っていられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						60

雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる		道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

危険度の高まりに応じて段階的に発表する防災気象情報



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。

※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5 緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸にお近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市			今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別			4日								5日		
			3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)		0										
	(浸水害)												浸水注意
	(土砂災害)												
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12		
		海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15		
波浪	波高 (メートル)		1.5	2	3	4	4	2	2.5	1.5	1.5		
高潮	潮位 (メートル)		0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5				
雷												竜巻	

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

ピークは4日 16時頃

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

ピークは4日16時頃

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



高波による道路の落橋被害
(北海道神恵内村) 写真提供:北海道
(平成16年台風第18号)



兵庫県芦屋市涼風町
海岸堤防を越えて流入する海水
写真: 芦屋市提供



兵庫県芦屋市涼風町
住宅地の浸水
写真: 芦屋市提供